



自民党・無所属 大阪府議団だより

令和3年度 2月の定例会議において

徳永しんいち議員は

民間人材サービス事業者と連携した緊急雇用対策、スタートアップ支援、グローバルバイオコミュニティなどについて質問しました。

PROFILE
大阪市東成区選出

昭和41年東成区生まれ。大阪市立宝栄小学校・東陽中学、府立高津高校を経て、兵庫県立神戸商科大学卒。平成19年より大阪府議会議員(3期)。現在、府議会会商工労働委員会所属。自由民主党東成支部長、自由民主党大阪府連政務調査会長代理。

民間人材サービス事業者と連携した緊急雇用対策



実績について

Q 徳永議員

昨年10月から実施の「民間人材サービス事業者と連携した緊急雇用対策」は失業者と企業とを結びつける良い取り組みである。現時点における実績は。

A 就業促進課長

「OSAKA求職者支援コンソーシアム」については、現在75社の参画を得、約9万件の求人を集め求職者に提供することができており、今年度目標の5千人の就職が見込まれます。

緊急雇用対策事業の継続実施

Q 徳永議員

府の特設サイト「にであう」を利用した雇用施策は、令和3年度までの事業となっている。コロナ禍における緊急雇用対策としての実施ではあるが、コロナの感染が沈静化し、府として雇用促進支援金の支給が終了した場合においても、ハローワークと連携し取組みを継続していくべきではないか。

A 就業促進課長

支援金事業終了後の取組みについては、その時点の雇用情勢を見極め、コンソーシアム参画事業者と協議するとともに、事業効果が高まるようハローワークを所管する大阪労働局にも協力を求めるなど、事業の在り方も含めて検討を進めていきたい。

スタートアップ(ベンチャー企業)支援

大阪産業局への事業移管について

Q 徳永議員

大阪が国のグローバル拠点都市の一つに選定され、この4月から府のスタートアップ関連事業を大阪産業局に移管する計画になっていると聞いている。今後も、国との調整や京都府、兵庫県との連携を考えると、引き続き行政主体でエコシステムの整備を進めていくべきではないか。移管する狙いは。

A 商業・サービス産業課長

平成30年10月に、大阪産業局を事務局とし、大阪府、大阪市、堺市に加え、経済団体や大学、金融機関等で構成するコンソーシアムを立ち上げ、エコシステムを形成してきました。また、この4月以降は、府・市のスタートアップ関連事業を大阪産業局に移管することで、産学官が一体となったオール大阪の推進体制や京阪神連携を更に強化できると考えています。

海外アクセラレーターと連携した支援

Q 徳永議員

府では、大阪・関西万博も見据え、コンソーシアムの構成メンバーの協力を得て、新たに海外のトップアクセラレーターとスタートアップを結びつける「スタートアップ活躍促進事業」に取り組んでいる。その取り組み内容について伺う。



A 商業・サービス産業課長

海外アクセラレーターによるスタートアップ講座を開催し、成長に必要な経営指導を行っています。中堅・中小企業とスタートアップのマッチングを促進し、海外アクセラレーターのネットワークを通じて取引先を紹介するなど、グローバル化支援に取り組んでいます。

要望!

海外で有名なアクセラレーターを呼び込み世界で活躍するスタートアップを育てていくことは、現在、大阪府が進めている「国際金融都市OSAKA」を目指す取り組みにも資するもの。引き続き、スタートアップの成長支援を積極的に進められたい。

新型コロナ禍での事業支援について

時短営業協力金の迅速な支給を

時短営業協力金の支給スピードが非常に遅いという多くの声を聞いており、府の支給率が未だ1割弱との報道も。我が会派の富田議員からも、一刻も早く事業者の皆さまに届くよう、スピードアップ策を強く要望したところ。コロナで打撃を受けている事業者の方々にとって、協力金の支給遅れが死活問題となるため、速やかに支給して頂くことを強く要望する。支給遅れの要因として、提出書類の不備が挙げられているが、多忙な合間を縫って申請書を作成する事業者の立場に立った、思いやりのある申請書の入力様式を作成頂きたい。

新型コロナの影響を受けた全ての事業者に対する支援を

新型コロナ感染拡大により、倒産や事業の縮小等が増加する一方、行政からの支援は対象事業者が限定的であり、一過性のものとなっている。国任せではなく、今こそ自主財源を切り崩してでも、苦境に立たされている事業者を積極的に支援すべきである。医療機関や医療関連機関、専門資格を有する医療類似行為の施術所、飲食業や飲食関連企業、観光業、公共交通機関など、社会機能を維持するために日夜、献身的に働いてくださり、暮らしを支えてくださっているエッセンシャルワーカーの皆さま、全てを対象にすべきであり、機を逸することなく、迅速に行って頂くよう強く要望する。